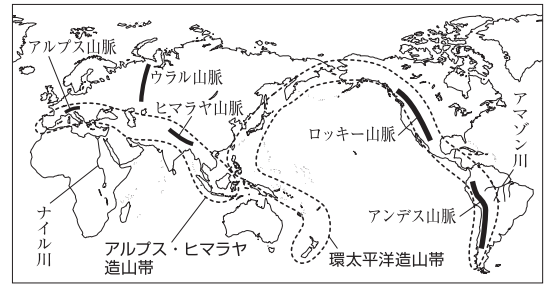


1 日本の自然

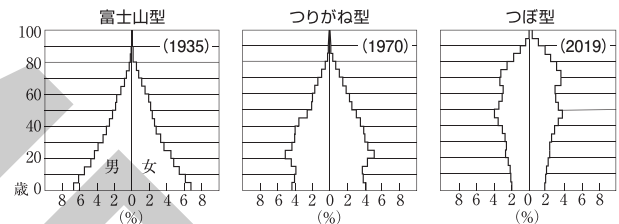
- (1) 世界の地形…造山帯は火山活動が活発で、地震が多い。
環太平洋造山帯とアルプス・ヒマラヤ造山帯がある。最も長い川はナイル川、流域面積が最大の川はアマゾン川。
- (2) 日本の地形…環太平洋造山帯にふくまれ、国土の約4分の3が山地。日本列島中央部には3000m級の山々が連なる日本アルプス。その東側には大地溝帯であるフォッサマグナがあり、日本を東西に分ける。河川は短くて流れが急、流域面積が小さい。最も長い川は信濃川、流域面積が最大の川は利根川。三角州・扇状地・台地などの地形、リアス海岸・砂浜海岸などの海岸地形が見られる。
- (3) 日本の気候…日本の大部分は温帯(日本が属する温暖湿潤気候、西岸海洋性気候、地中海性気候に区分)。北西の季節風の影響を受ける日本海側の気候、南東の季節風の影響を受ける太平洋側の気候、一年中降水量が少なく、夏と冬、昼と夜の気温差が大きい内陸(中央高地)の気候、一年中温暖で、降水量が少ない瀬戸内の気候、冬の寒さが厳しく冷帯にふくまれる北海道の気候、一年中気温が高く降水量が多い南西諸島の気候。
- (4) 日本の自然災害…地震、地震による津波・液状化、梅雨・台風の際の洪水・土石流、台風による高潮、火山の噴火など。自然災害が多い日本では防災・減災への取り組みが行われ、地方自治体がハザードマップを作成。



▲世界の造山帯と山脈・河川

2 日本の人口

- (1) 世界の人口…約78億人。約6割がアジア州に。アジアやアフリカの発展途上国では人口爆発。
- (2) 日本の人口…約1億2600万人。世界でも人口は多い方だが、近年は減少傾向。少子高齢化が進行し、人口ピラミッドは、多産多死の富士山型→少産少死のつりがね型→つぼ型に変化している。富士山型は発展途上国に多く見られる。
- (3) 人口分布…大都市に人口が集中し、特に、東京、大阪、名古屋の三大都市圏に集中。都市部では過密となり、農村や山間部、離島などでは過疎に。都市ではドーナツ化現象が見られたが、近年は都心回帰の現象。



▲日本の人口ピラミッドの変化 (2020年版「日本国勢調査」などより)

3 日本の産業

- (1) 資源・エネルギー…世界の鉱産資源の分布にはかたよりがあり、日本はほとんどの鉱産資源を輸入に頼る。石炭や原油などの化石燃料の大量使用により、地球温暖化が問題となっている。日本の電力は火力発電が中心。近年は、太陽光、風力、地熱などの再生可能エネルギーの利用が進む。原子力発電は、東日本大震災での発電所の事故以降、発電量が減少した。
- (2) 工業…日本は、原料を輸入して製品を輸出する加工貿易で発展してきた。多くの工場は沿岸部にあり、関東地方から九州地方北部にかけて太平洋ベルトを形成。機械工業が中心で、自動車の製造などのほか、IC(集積回路)などを生産する先端技術産業も発達。1970年代以降、交通網の整備により空港付近や高速道路沿いに工業団地が進出し、内陸部にも工業地域が形成された。欧米諸国との貿易摩擦などにより日本企業が海外進出。
- (3) 農業…1戸あたりの平均耕地面積は小さい。米の消費量が減り、減反政策(生産調整)がとられたが廃止。生育時期をずらして野菜を出荷する促成栽培や抑制栽培が行われる。都市周辺では近郊農業。農家の高齢化、後継者不足が深刻。牛肉・オレノジや米の一部を輸入自由化。食料自給率が低い。
- (4) 水産業…大陸棚や、寒流と暖流が出会う潮目(潮境)など好漁場が多い。近年は、「とる漁業」から、養殖や栽培漁業などの「育てる漁業」への転換。
- (5) 第三次産業…サービス業などの第三次産業に従事する人が最も多く、7割以上を占める。第一次産業(農林水産業)は最も少なく1割に満たない。

	1960年	1980年	2018年
米	102	100	97
小麦	39	10	12
大豆	28	4	6
野菜	100	97	77
果実	100	81	38
肉類	91	81	51

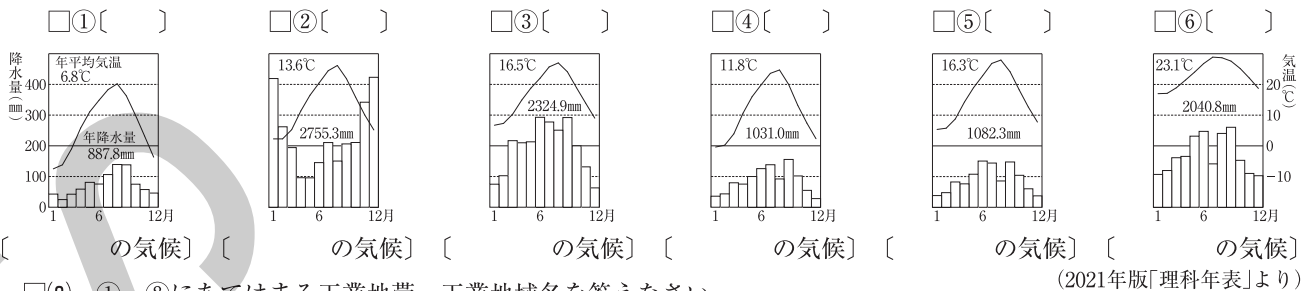
(%) (2020年版「日本国勢調査」より)

▲日本の食料自給率の変化

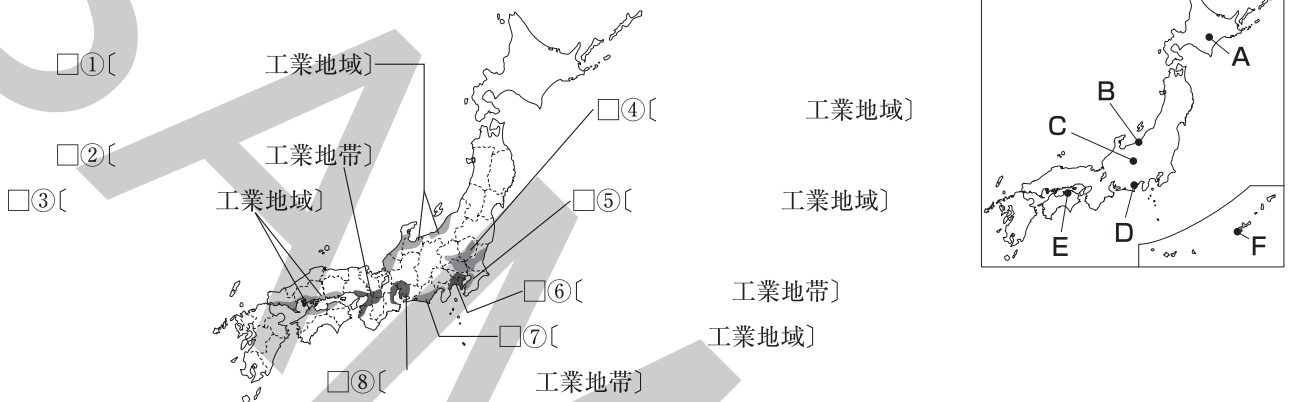
確認問題

1 <重要図版の確認> 次の各問いに答えなさい。

□(1) ①～⑥の雨温図にあてはまる地点を右下の地図中のA～Fから選び、各雨温図の下に気候名を答えなさい。



□(2) ①～⑧にあてはまる工業地帯・工業地域名を答えなさい。



2 <重要語句の確認> 次の各問いに答えなさい。

□(1) 世界の造山帯のうち、日本がふくまれる造山帯を何というか。

(1) _____

□(2) 日本列島の中央部に連なる、^{ひだ}飛驒山脈、^{きそ}木曽山脈、^{あかいし}赤石山脈をまとめて何というか。

(2) _____

□(3) 日本列島の中央部を南北に連なり、日本を東西に分けている大地溝帯を何というか。

(3) _____

□(4) 日本で最も長い河川を何というか。

(4) _____

□(5) 川の河口付近に、土砂が^{たいせき}堆積してできた低くて平らな地形を何というか。

(5) _____

□(6) 日本の気候に影響をあたえている、夏と冬で風向きが逆になる風を何というか。

(6) _____

□(7) 都市などに人口が集中し、交通^{じゅうたい}渋滞やごみ処理などの都市問題がおこる現象を何というか。

(7) _____

□(8) 日本の工業は、原料を輸入して製品を輸出する貿易によって発展してきた。この貿易を何というか。

(8) _____

□(9) 都市の周辺で行われている、都市向けに野菜などの農産物を生産する農業を何というか。

(9) _____

□(10) 好漁場となっている、水深200mぐらいまでの浅い海底を何というか。

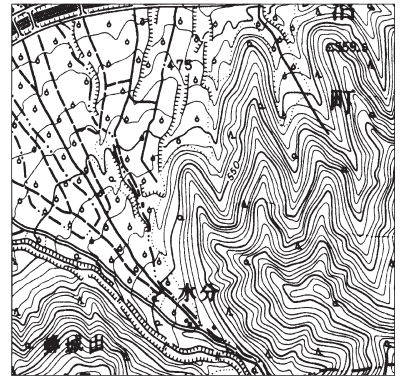
(10) _____

練成問題

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

あ日本列島は山がちで、い平野やう盆地は外国に比べると規模が小さい。また、国土面積はせまく、高く険しい山が多いので、そこから流れ出す川は、大陸の川に比べて一般に（え）である。海岸にもさまざまな地形が見られ、東北地方の太平洋沿岸部には、山地が海に沈むなどしてできた複雑な海岸線をもつ（お）が見られる。

日本の広い範囲は、世界の5つの気候帯のうち、（か）に属している。おだやかな気候と豊富な降水量は、き豊かな森林をはぐくんだが、く自然災害を引きおこすこともある。また、国土が南北に長いことや近海を流れるけ海流、季節風などの影響から、こ地域ごとに気候の特色に違いが見られる。



- (1) 下線あについて、日本列島と同じ造山帯にふくまれる山脈を次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア アルプス山脈 イ アンデス山脈
ウ ウラル山脈 エ ヒマラヤ山脈

- (2) 下線いについて、日本で最も広い平野の名を答えなさい。

- (3) 下線うについて、右の地形図に示した地形は、盆地の周辺などで多く見られ、水はけがよいことから果樹栽培に適している。このような地形を何というか、答えなさい。

- (4) （え）にあてはまる内容として最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 短くて、流れが急 イ 短くて、流れがゆるやか
ウ 長くて、流れが急 エ 長くて、流れがゆるやか

- (5) （お）にあてはまる語句を答えなさい。

- (6) （か）にあてはまる気候帯を答えなさい。

- (7) 下線きについて、森林は、日本の面積のどのぐらいを占めるか。最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 約3分の1 イ 約2分の1
ウ 約3分の2 エ 約5分の4

- (8) 下線くについて、震源が海底の地震がおきた場合に引き起こされることがある、海底の地殻変動によって押し上げられた海水が陸に押し寄せる自然災害を何というか、答えなさい。

- (9) 地震や火山の噴火、洪水などの自然災害に備えて、都道府県や市区町村が作成する、被害予測や避難場所などを示した防災のための地図を何というか、答えなさい。

- (10) 下線けについて、日本列島の太平洋側を流れている暖流と寒流の名を答えなさい。また、東北地方の三陸海岸沖のように、暖流と寒流が出会う海域を何というか、答えなさい。

- (11) 下線こについて、瀬戸内の気候を説明した文として最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 一年を通じて温暖で、降水量が少ない。
イ 一年を通じて温暖で、降水量が多い。
ウ 一年を通じて気温が低く、降水量が少ない。
エ 一年を通じて気温が低く、降水量が多い。

(1) _____

(2) _____

(3) _____

(4) _____

(5) _____

(6) _____

(7) _____

(8) _____

(9) _____

(10) 暖流 _____

寒流 _____

海域 _____

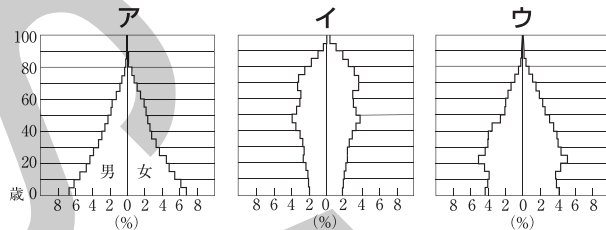
(11) _____

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

日本は人口分布にかたよりのあり、あ人口密度が非常に高い地域と低い地域がある。また、い年齢別人口構成が変化し、近年は、う65歳以上の人口が増え、出生数が減少する傾向が進んでいる。

□(1) 下線あについて、山間部や離島などで見られる、人口がいちじるしく減少し、地域社会の生活の維持が困難になる現象を何というか、答えなさい。

□(2) 下線いについて、次のア～ウは、日本の、1935年、1970年、2019年のいずれかの人口ピラミッドである。1935年のものを1つ選び、記号で答えなさい。



(2020年版「日本国勢図会」などより)

□(3) 下線うについて、このような傾向を何というか、答えなさい。

(1) _____

(2) _____

(3) _____

3 資源・エネルギーについて、次の問いに答えなさい。

□(1) かつて日本でさかんに産出されたが、近年はほとんどの鉱山が閉鎖され、オーストラリアやインドネシアなどからの輸入に頼っている鉱産資源を次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 石炭 イ 石灰石 ウ 鉄鉱石 エ ウラン

□(2) 日本が最も多く原油を輸入している国を答えなさい。

□(3) 右上の表は、日本と世界の国々の総発電量に占める発電の種類別割合をまとめたものであり、表中のA～Cには次のア～ウのいずれかがあてはまる。それぞれにあてはまるものを1つずつ選び、記号で答えなさい。

ア 水力 イ 火力 ウ 原子力

□(4) 化石燃料を使用することによって二酸化炭素などの量が増加し、世界的に気温が上昇する地球環境問題を何というか、答えなさい。

発電の種類	A	B	C
日本(2010年)	67	8	25
日本(2018年)	82	9	6
フランス(2018年)	13	10	71
カナダ(2018年)	20	60	15

(単位：%)

(2020年版「日本国勢図会」などより)

(1) _____

(2) _____

(3) A _____ B _____ C _____

(4) _____

4 日本の産業について、次の問いに答えなさい。

□(1) 次のア～エは、日本、アメリカ合衆国、フランス、イギリスのいずれかの国の穀物自給率(2018年)である。日本の穀物自給率を1つ選び、記号で答えなさい。

ア 28% イ 86% ウ 127% エ 189%

□(2) 高知平野や宮崎平野で行われている、野菜などの農作物の生育を早め、他の産地より早く出荷する栽培方法を何というか、答えなさい。

□(3) 日本の水産業に関する次の文章中の(①), (②)にあてはまる語句を答えなさい。

かつてはとる漁業がさかんで、1970年代前半には(①)の漁獲量が最も多かったが、排他的経済水域の設定などによりおとろえた。近年は、育てる漁業への転換がはかられ、魚を稚魚(ちぎょ)になるまで育てて放流し、成長後にとる(②)などが行われている。

(1) _____

(2) _____

(3) ① _____

② _____